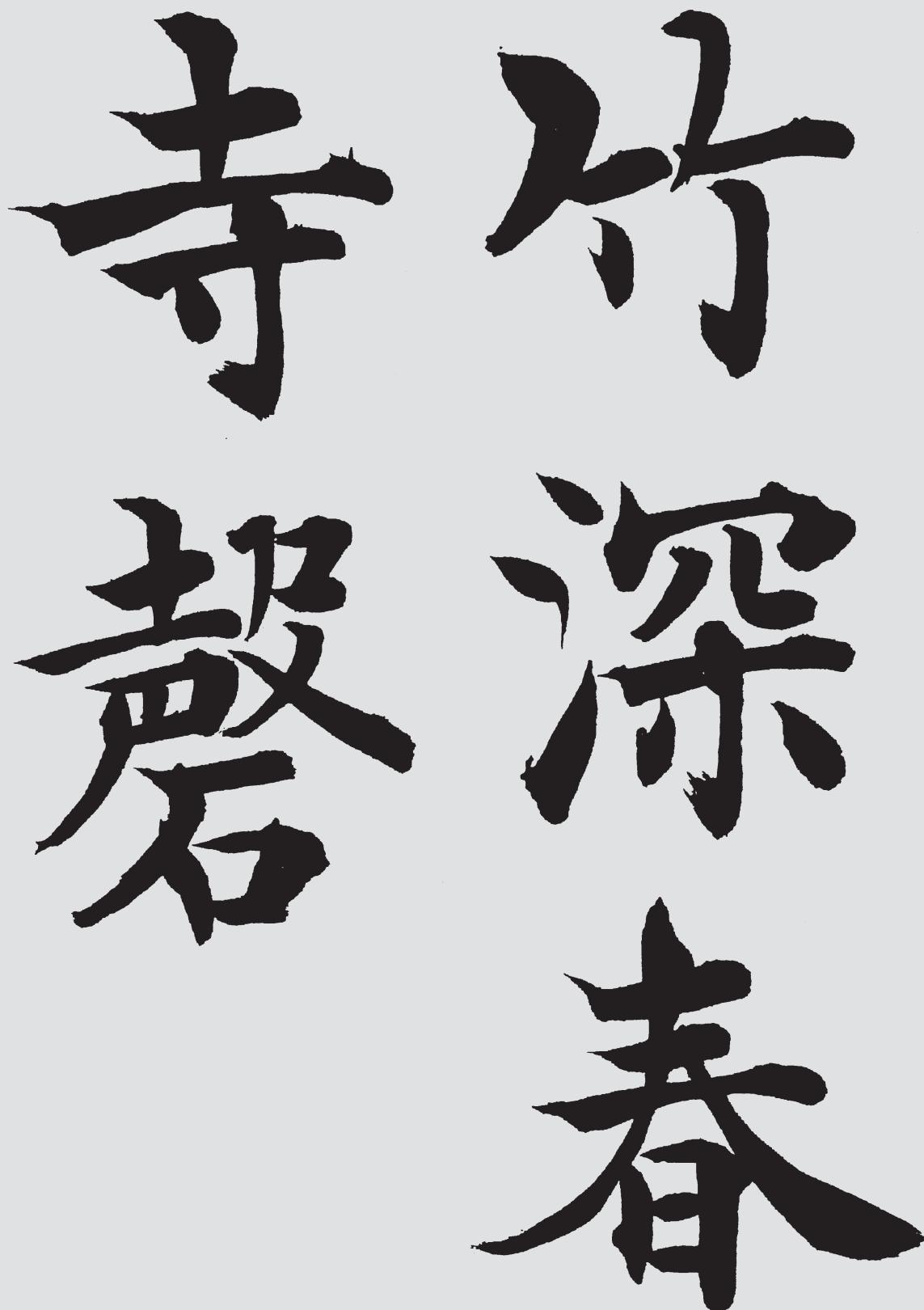


参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。



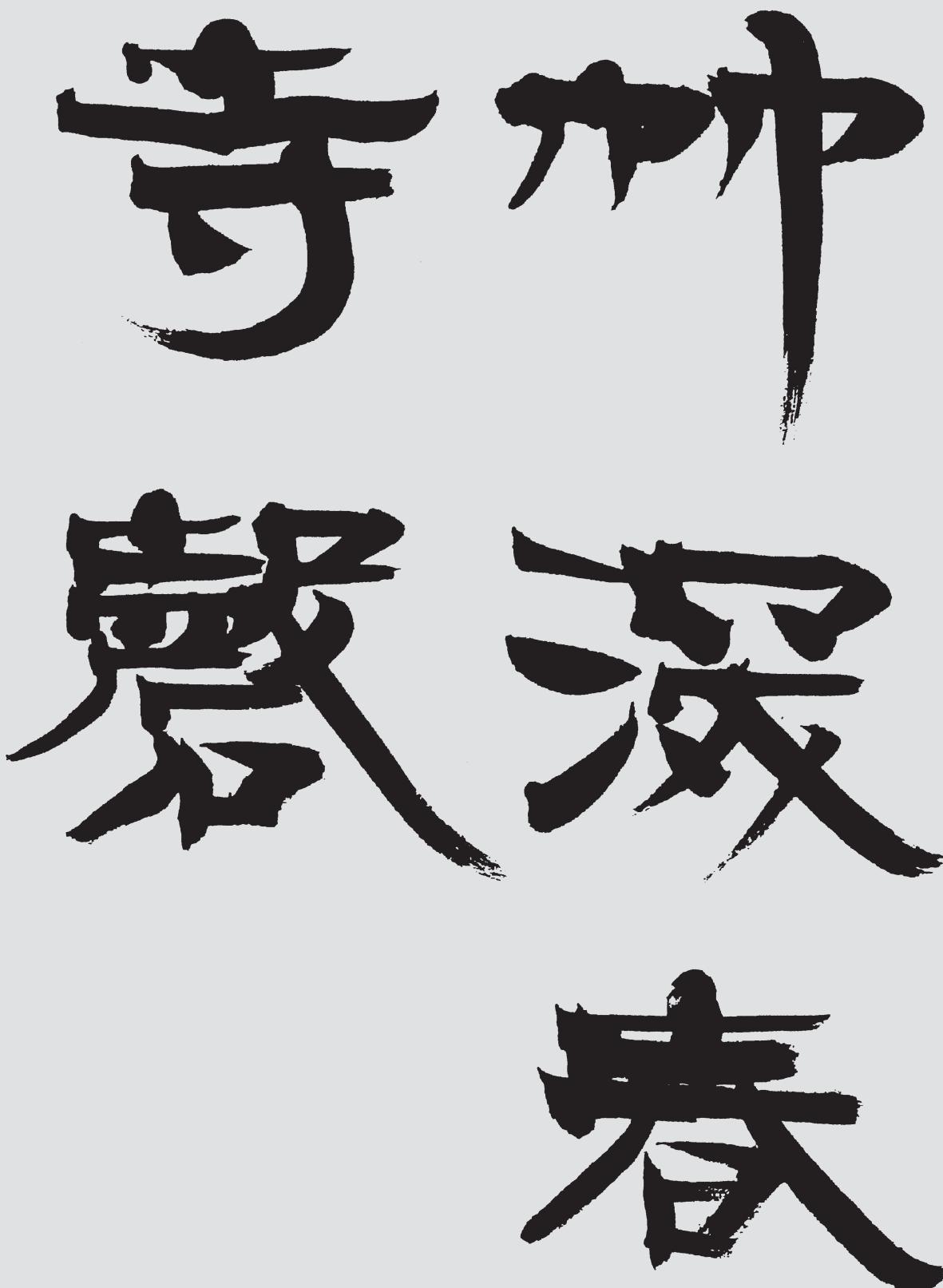
竹は深し
春寺の磬い

高木聖雨先生

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。

竹は深し
春寺の磬

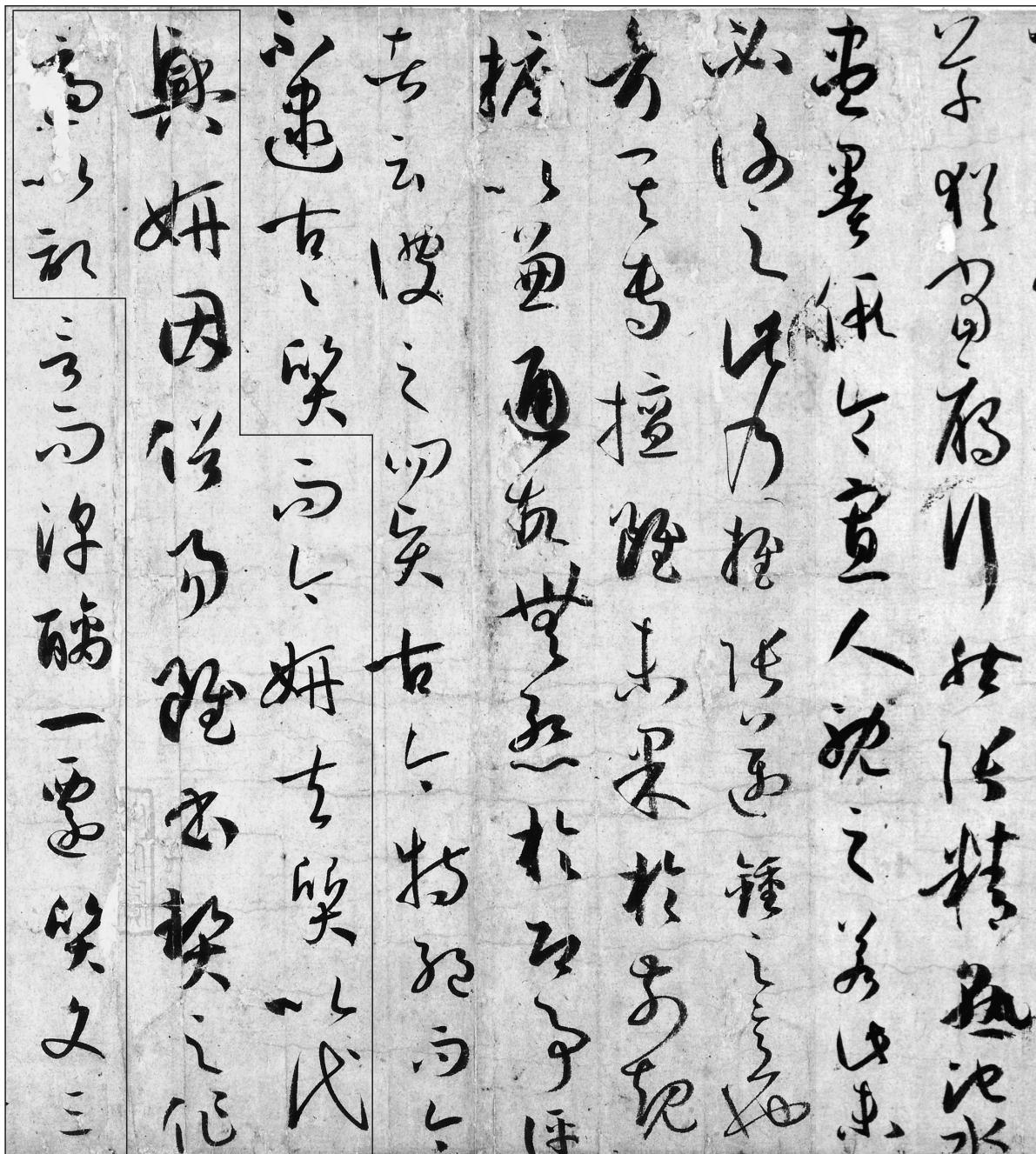


高木聖雨先生

条幅規定

A部(準五段以上)
B部(四段～準三段)

眞、一、次、一、も、一、次



条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

【今月の課題】

「而今妍。夫質以代興。妍因俗易。雖書契之作。適以記」

(20字)

草猶當雁行。然張精熟。池水盡墨。假令寡人耽之若此。未必謝之。此乃推張邁鍾之意也。未考其專擅。雖未果於前規。據以兼通。故無慙於卽事。評者云。彼之四賢。古今特絕。而今不逮古。古質而今妍。夫質以代興。妍因俗易。雖書契之作。適以記言。而淳醜一遷。質文三

『書譜』孫過庭

(3月10日締切)

条幅規定

C部（二段以下）

『集字聖教序』 王羲之

者其玄奘法師者夙懷聰令
立志專簡神清鄙止羸二年
旅浮華二世凝情定室一遷迄
幽巖栖息三禪巡遊十地超
塵之境獨步迦維會一乘之旨
隨機化物以中華之無質之守
印度之真文遂涉恒河終期
滿宇頻登雪嶺更攀半珠同

玄奘法師という者は、夙に聰令を懷き、志を立つること夷簡に、神は齟齬の年に清く、体は浮華の世を抜き、定室に凝情し、幽巖に匿跡し、三禪に栖息し、十地に巡遊し、六塵の境を越え、伽維に独歩し、一乗の旨を会し、機に隨いて物を化す。中華の無質を以て、印度の真文を尋ね、遠く恒河を涉り、終に満字を期し、頻ば雪嶺に登り、更に半珠を獲た
り。

者哉。玄奘法師者。夙懷聰令。
立志夷簡。神清齟齬之年。體
拔浮華之世。凝情定室。匿跡
幽巖。栖息三禪。巡遊十地。超六
塵之境。獨步迦維。會一乘之旨。
隨機化物。以中華之無質。尋
印度之真文。遠涉恒河。終期
滿字。頻登雪嶺。更獲半珠。問

【今月の課題】

「物。以中華之無質。尋印度之真文。遠涉恒河。」

17
字

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

無事・了承・度

(3月10日締切)

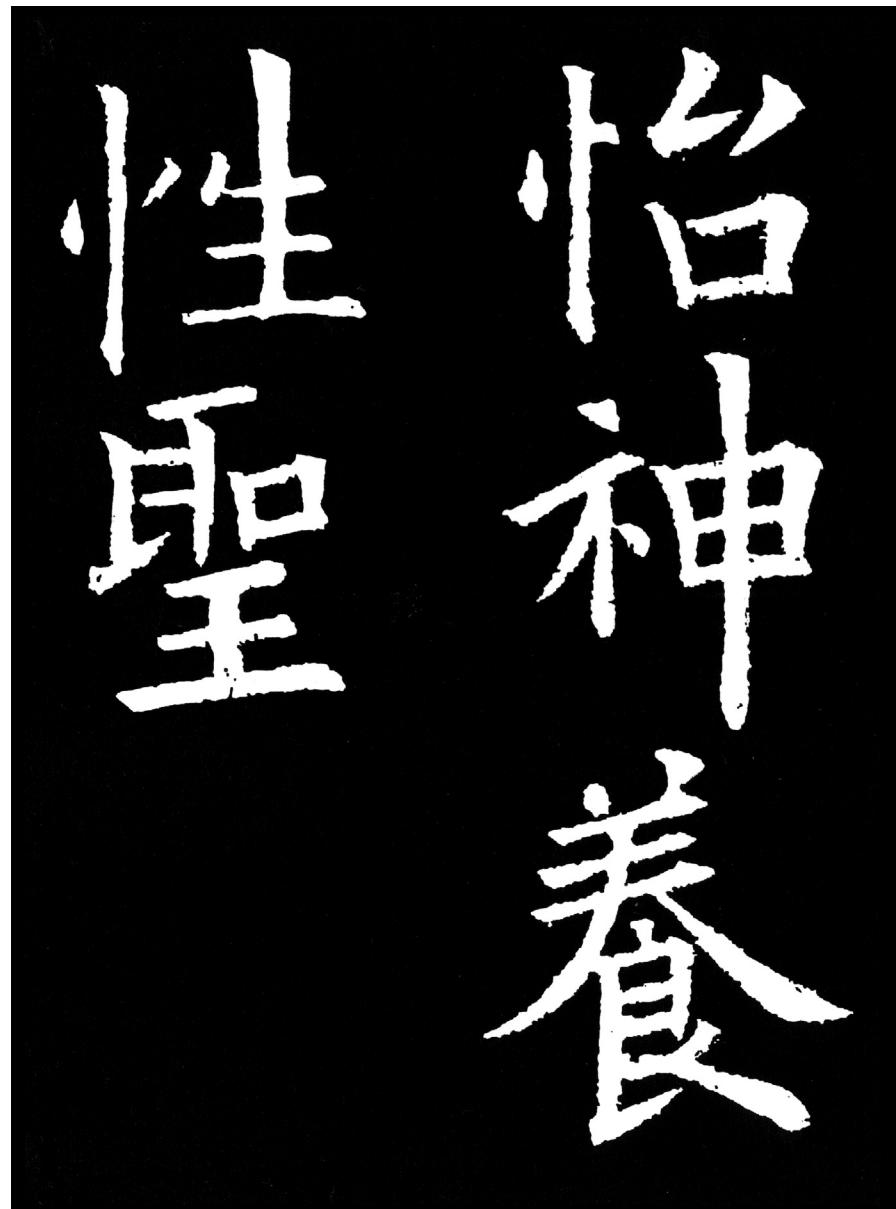
半紙規定(二)

半紙規定(一)

曹全碑（漢・作者不詳）

— 7 —

米栗賜癡盲



※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書

〔一級以下〕楷書

九成宮醴泉銘（唐・歐陽詢）

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

[この課題を同月の半紙随意には出品出来ません]
(3月10日締切)

条幅参考手本

渡邊南嶂先生

花開後花謝盡是春風力莫
怨子規啼卒芳草碧南嶂書

花開復花謝 罷是春風力 莫怨子規啼
花開いて復花謝す 尽くは春風の力 子規の啼くを怨むこと莫かれ

年年芳草碧なり

大越三宗先生

湖中五老峯 去天不盈尺 潤底白雲生 五老頭俱白
湖中の五老峰 天を去って尺にも盈たず 潤底白雲生じ 五老頭俱に白し

条幅かな

すみの江の松のみどりも紫の色にてかくる岸のふぢなみ(読人しらす)
三農
三母無ら斜き
二帝可九留
遼奈



※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左側下部に添え書きして下さい。

条幅参考本

渡水復渡水 看花還看花 春風江上路 不覺到君家
水を渡り復た水を渡り 花を看還た花を見る 春風江上の路 覚えず君が家に到る



鈴木翡翠先生

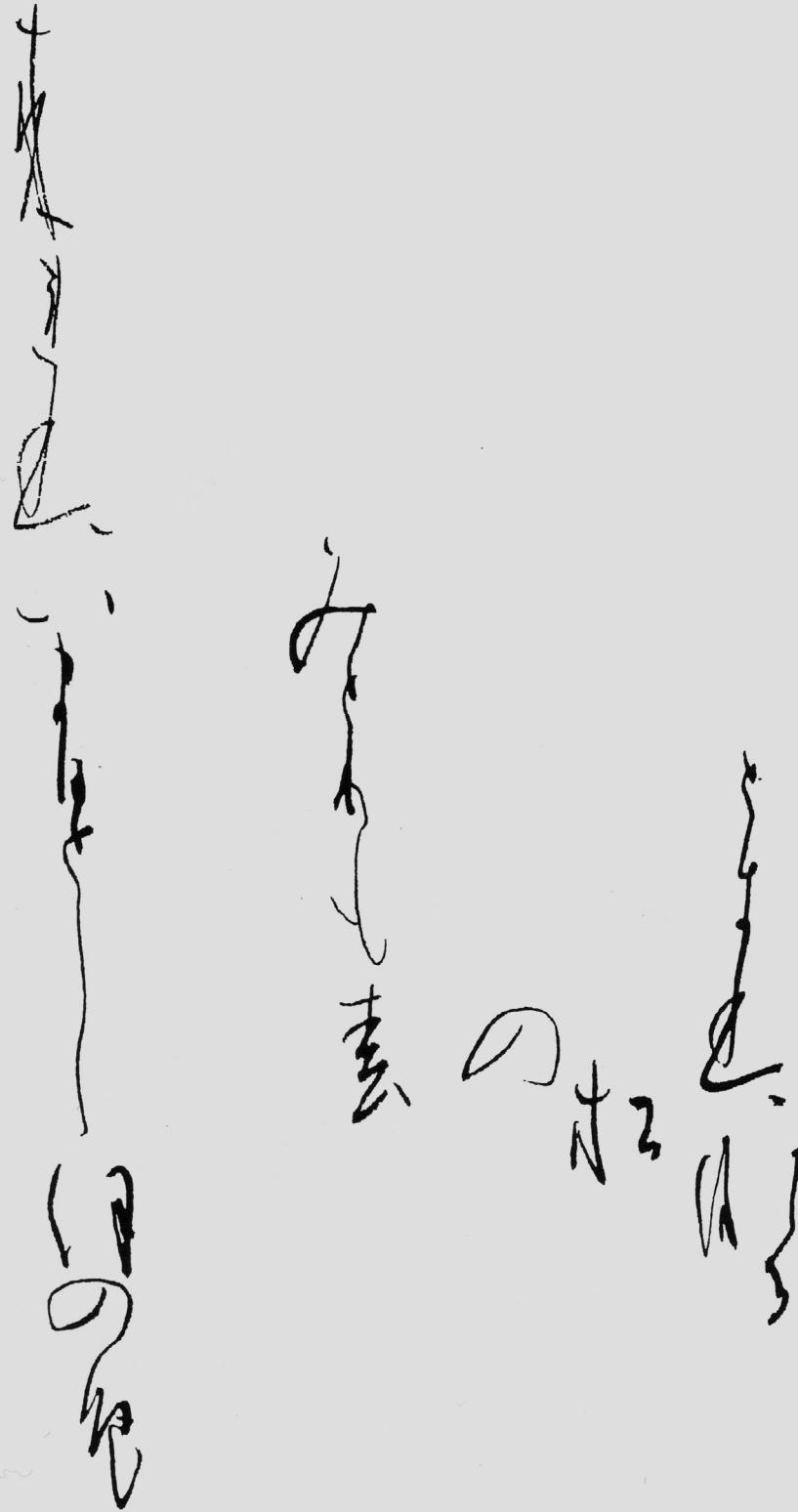
半紙かな(初段以上)

ときはなるまつ
支盤那松のみどりも
利春來ればはるく
連盤日ひとしほの
保色いまさりけりいろ
萬斜利个理（源宗于）

支部名 段 姓 号 (鉛筆可)

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由。

浮乘清郷先生



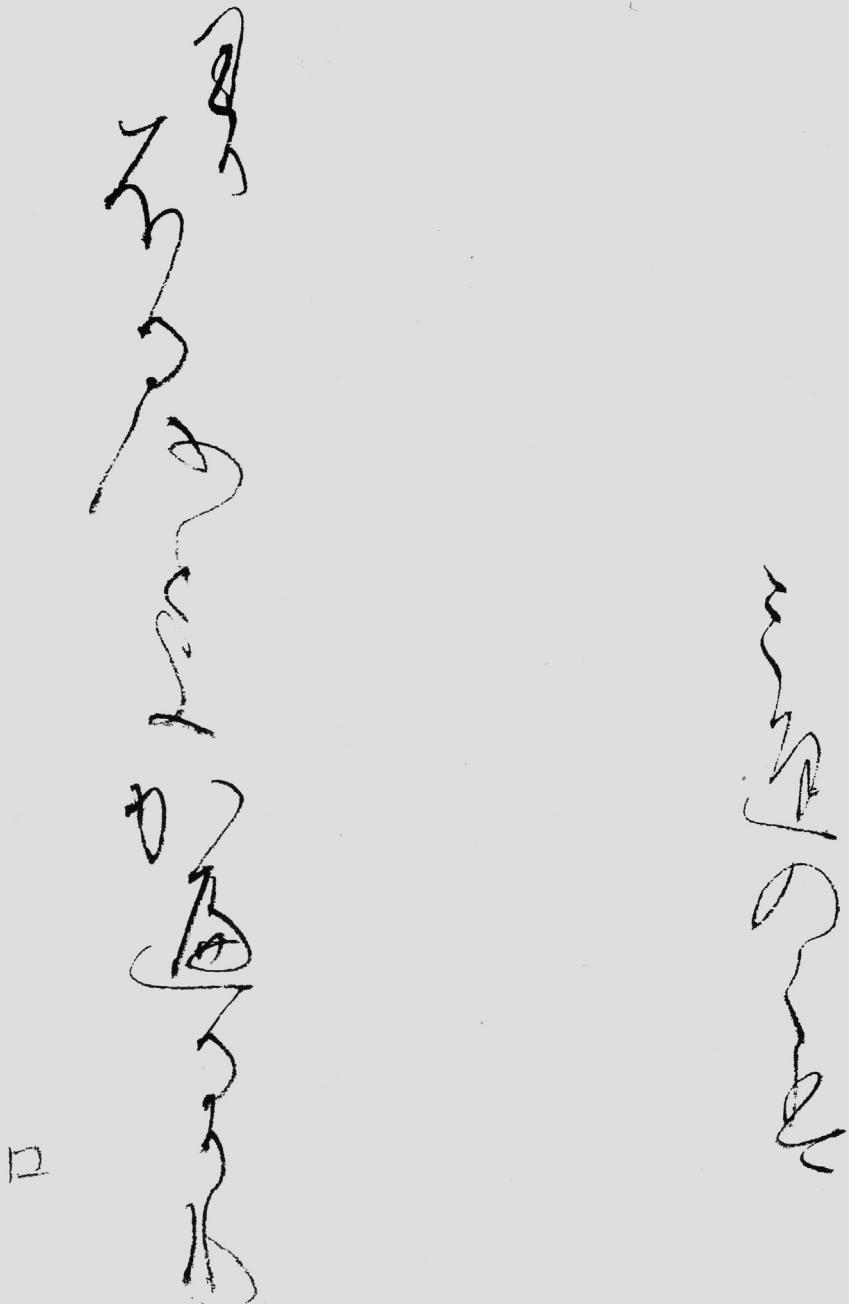
(3月10日締切)

半紙かな（1級以下）

みちのくはわがふるさとよ帰る
三 遅 盤 王 可 不 沙 通 可利
かへりかへりかへりかへり
雁 (山口青邨)

支部名 級 姓 号
(鉛筆可)

*支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
*ちらし文字変換は自由。



(3月10日締切)

実用文（準三段以上）

大井岳陵先生

王羲之の書に見られる一種と云ふ
いだ書きは、漢代隸書の緊張感
の緊張感とは非常に薄のちがう
少つです。有名な蘭亭序の文と
いい、またその書の味わいといい

支那

毛

姓

号

〈書風任意〉王羲之の……種……氣分は漢代隸書……緊張感……蘭亭序……。

(3月10日締切)

実用文（二段以下）

鈴木翡翠先生

二月にやると脅のよでは立春から
やがて来ますからさむ寒い時期です。
越後の雪は余寒から“祖母の言
葉が思ひ出されます。

文部省 段級 姓号

細字

高須翠雲書「五體昭和千字文」より
P60

珊瑚 寄舷 眇茫 流離
珊瑚 寄舷 眇茫 流離

支部

段級

姓

号

※一級以下は草書まで。 初段以上は隸書まで。

※名前は楷書以外では違反になります。

17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

(名前は必ず楷書で書くこと)

眇寄
茫舷
遠くはるかなこと。
舟ばたに身を寄せる。

りゅう
離り
国を離れてさする。

硬筆（初段以上）

梅の蕾も膨らみ始め、春の足音

が近づいて余りました。“冬、また

なば春をからべ、先輩からの

アドバイスを支えに苦境を乗り

越え花を咲かせた決意です。

支教名

あ

姓
弓

青 柳 江 雲 先 生

…参りました。…来たりなば春遠から…先輩…乗り越え…。

(3月10日締切)

硬筆（4級以下）

支部名

級

姓

号

温かい料理を食べると、気分の落ち込んでもる時や寂しい時は心が和む。

硬筆（1級～3級）

温かい料理を食べると、気分の落ち込んでもる時や寂しい時は心が和む。

支部名

級

姓

号

本院定型用紙・たて半分に書く

若月久美子先生

若月久美子先生

(3月10日締切)

中2用

支部名
段級名
前

変化四季の

中3用

支部名
段級名
前

祝う卒業を

大越三宗先生

小6用

支部名
段級名
前

の残雪谷

中1用

支部名
段級名
前

予定今週の

渡邊南嶂先生

(3月10日締切)

小4用

支部名
段級
名前

し 雪
さ け

小5用

支部名
段級
名前

お 別
れ 会

大越三宗先生

小2用

支部名
段級
名前

ヤツ
イ

小3用

支部名
段級
名前

か
け

鈴木翡翠先生

(3月10日締切)

中 1

もうすぐ鳥歌い、花咲
き乱れる春が訪れる。

中1～中3

中 2 行書は書写に適し、作
品にも多く書かれる。

青 柳 江

中 3
自主的な判断や創造的な意見を育てたい。

雲先生

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

小 4	小 5	小 6
自分といやと思うこと は人にもしない。	節分の日をさかいに、 冬から春になります。	北国では二月になつて も雪の降る日もある。

小1~小3

田 边 翠

鶴先生

小4~小6

齊藤翡翠

流 先 生

(3月10日締切)

小学部小筆課題

支部名

段級

名

前

春の夜

梅かおる

中学部かな課題

支部名

支部名

段級

名

前

する子供らに山の
雪

半紙半分に書いて下さい (3月10日締切) 半紙半分に書いて下さい

漢字筆順表 (教育漢字)

△そ

藻	騷	霜	燥	操	槽	遭	聰	綜	總	漱	層	蒼	想
藻	騷	霜	燥	操	槽	遭	聰	綜	總	漱	層	蒼	想
(19画)	(18画)	(17画)	(17画)	(16画)	(15画)	(14画)	(14画)	(14画)	(14画)	(14画)	(14画)	(13画)	(13画)
一 サ サン サン 萍 萍 萍 萍 萍 萍 萍 萍 萍 萍 萍 萍 萍 萍	一 フ フ 馬 馬 駄 駄 駄 駄 駄 駄 駄 駄 駄 駄 駄 駄	一 ハ ハ 雪 雪 霜 霜 霜 霜 霜 霜 霜 霜 霜 霜 霜	一 ハ ハ 烟 烟 煙 煙 煙 煙 煙 煙 煙 煙 煙 煙 煙	一 ハ ハ 搞 搞 搞 搞 搞 搞 搞 搞 搞 搞 搞 搞 搞	一 ハ ハ 槽 槽 槽 槽 槽 槽 槽 槽 槽 槽 槽 槽 槽	一 ハ ハ 曹 曹 曹 曹 曹 曹 曹 曹 曹 曹 曹 曹 曹 曹	一 ハ ハ 聰 聰 聰 聰 聰 聰 聰 聰 聰 聰 聰 聰 聰	一 ハ ハ 級 級 級 級 級 級 級 級 級 級 級 級 級	一 ハ ハ 総 総 総 総 総 総 総 総 総 総 総 総 総	シ ハ ハ 沫 沫 沫 沫 沫 沫 沫 沫 沫 沫 沫 沫 沫	一 ハ ハ 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸 尸	一 サ サ 花 花 花 花 花 花 花 花 花 花 花 花 花 花	一 サ サ 相 相 相 相 相 相 相 相 相 相 相 相
速	息	則	促	足	束	即	臟	贈	藏	憎	增	像	造
速	息	則	促	足	束	即	臟	贈	藏	憎	增	像	造
(10画)	(10画)	(9画)	(9画)	(7画)	(7画)	(7画)	(19画)	(18画)	(15画)	(14画)	(14画)	(14画)	(10画)
一 ハ ハ 申 申 束 束 束 束 束 束 束 束 束 束 束	ノ ハ ハ 自 自 息 息 息 息 息 息 息 息 息 息	ノ ハ ハ 則 則 則 則 則 則 則 則 則 則 則 則 則	ノ ハ ハ 促 促 促 促 促 促 促 促 促 促 促 促 促	ノ ハ ハ 足 足 足 足 足 足 足 足 足 足 足 足 足	ノ ハ ハ 束 束 束 束 束 束 束 束 束 束 束 束 束	ノ ハ ハ 卍 卍 卍 卍 卍 卍 卍 卍 卍 卍 卍 卍	ノ ハ ハ 腸 腸 腸 腸 腸 腸 腸 腸 腸 腸 腸 腸 腸 腸	ノ ハ ハ 贈 贈 贈 贈 贈 贈 贈 贈 贈 贈 贈 贈 贈	ノ ハ ハ 藏 藏 藏 藏 藏 藏 藏 藏 藏 藏 藏 藏 藏	ハ ハ ハ 憎 憎 憎 憎 憎 憎 憎 憎 憎 憎 憎 憎 憎	ハ ハ ハ 増 増 増 増 増 増 増 増 増 増 増 増 増	ハ ハ ハ 像 像 像 像 像 像 像 像 像 像 像 像 像	ハ ハ ハ 造 造 造 造 造 造 造 造 造 造 造 造 造
一 ハ ハ 申 申 束 束 束 束 束 束 束 束 束 束 束 束	ノ ハ ハ 自 自 息 息 息 息 息 息 息 息 息 息 息	ノ ハ ハ 則 則 則 則 則 則 則 則 則 則 則 則 則	ノ ハ ハ 促 促 促 促 促 促 促 促 促 促 促 促 促	ノ ハ ハ 足 足 足 足 足 足 足 足 足 足 足 足 足	ノ ハ ハ 束 束 束 束 束 束 束 束 束 束 束 束 束	ノ ハ ハ 卍 卍 卍 卍 卍 卍 卍 卍 卍 卍 卍 卍	ノ ハ ハ 腸 腸 腸 腸 腸 腸 腸 腸 腸 腸 腸 腸 腸 腸	ノ ハ ハ 贈 贈 贈 贈 贈 贈 贈 贈 贈 贈 贈 贈 贈	ノ ハ ハ 藏 藏 藏 藏 藏 藏 藏 藏 藏 藏 藏 藏 藏	ハ ハ ハ 憎 憎 憎 憎 憎 憎 憎 憎 憎 憎 憎 憎	ハ ハ ハ 増 増 増 増 増 増 増 増 増 増 増 増 増	ハ ハ ハ 像 像 像 像 像 像 像 像 像 像 像 像	ハ ハ ハ 造 造 造 造 造 造 造 造 造 造 造 造

参考手本

※これは規定課題ではありません。

閑居、

こうし
高志を養う



成瀬映山先生